

■ CSRへの取り組み

当グループはコンプライアンス(法令遵守)や企業倫理の徹底、社会貢献などを積極的に推進し、CSR活動に取り組んでいます。

■「ユニバーサルデザイン」への取り組み

当グループでは、あらゆる人が快適に利用することのできる製品の開発向け「ユニバーサルデザイン(UD)」活動に取り組んでいます。これまで「小型・軽量・薄型・省電力」という独自の技術を活かし、環境にやさしい製品開発をおこなってきましたが、これに加え使いやすさや安全性にも配慮した「環境に優しく、人にも優しい」製品作りを目指していきます。そのための方針として、独自の「カシオ ユニバーサルデザイン指針」を2005年に策定し、具体的な製品開発への考え方を定めました。今後は製品本体、パッケージ、取扱説明書など、あらゆる面において使いやすさを向上し、使う人の立場に立った製品作りを追求していきます。

カシオユニバーサルデザイン指針
1. 理解しやすい表示表現
2. 簡単でわかりやすい操作性
3. 身体的・心理的負荷の軽減
4. 安全と安心の提供
5. 製品価値の追求



▲独自のUD活動シンボルマーク

■事業所における省エネルギーへの取り組み

地球温暖化防止への取り組みの一つとして当グループでは、事業所や生産拠点の省エネルギーに努めています。なかでも2003年に完成した八王子技術センターは、最新の省エネ技術を採用した設備を備え、最先端の省エネ対策をおこなっています。具体的には、気象予測データ等に基づいた建物内の蓄熱槽による使用電力の平準化、自然換気システムの導入、空調・照明・換気・ブラインドの自動制御運転などを実施しています。また設備面に加え、完全自動運転だった空調システムに部分的に手動運転を取り入れた運用を実施し、さらなる省エネに取り組んでいます。この活動はハード面と自主的な活動が合わさった画期的な省エネ施策として東京都や省エネ技術研究会等でも高く評価され、モデル事業所として紹介されています。



▲八王子技術センターの建物外観

■企業訪問の受け入れ活動

企業市民の一員として当グループは、あらゆるステークホルダーとのコミュニケーションの場を大切にしています。その一環として、2006年8月に千葉県立柏高等学校の羽村技術センターへの企業訪問を受け入れました。同校は文部科学省による科学技術系の人材育成に重点をおいた「スーパー・サイエンス・ハイスクール」の指定校であり、今回の訪問は「電卓の論理回路について学ぶとともに、研究開発の現場を見学したい」という学校からの依頼を受けて実現したものです。訪問では、企業活動紹介、加減乗除の論理回路の説明、電卓関連の基礎技術に関する講義をはじめ、新製品開発の様子の紹介や設備などの見学もおこなわれました。今後もこういった活動を通じ、将来を担う次世代への教育に寄与していきたいと考えています。



■上海の3大学に「カシオ教育奨励基金」設立

当グループは創業当初から受け継がれる「創造 貢献」の経営理念に基づき、社会の発展に必須な学術・研究活動への支援を積極的におこなっています。この一端としてカシオ上海は2005年の北京大学「北京大学日本学研究会カシオ基金会」設立に引き続き、2006年11月に上海の復旦大学、上海外国語大学、華東政法学院に「カシオ教育奨励基金」を設立しました。3大学は、それぞれ上海の名門大学として名高く、優れた研究活動をはじめ数々の要人を輩出してきたことでも知られています。各大学へは、今後10年間にわたり多岐な学問分野に対する奨励金を拠出するとともに、人材交流などの活動も含め積極的に研究活動を支援・振興していきます。

